

夕刊 新報

行設日七月四
電話九百九十九
電話九百九十九
電話九百九十九

似而非唯物史觀

大友 武
エンゲルスの「反デューリング論」のなかで、デューリングが歴史の衝動力が経済力でなく、直接的政治的暴力によるものたることを論じて、これを「唯物史觀」と名づけ、唯物史觀の立場から、その非なる所以を明らかにして、経済に對する政治の優位を機械的に解釋すれば、この誤謬に陥るは免れない。(E) 經驗論の根據は、感覺論である。感覺論の根本的な矛盾は、認識の局部的、主観的な點になる。彼等は自然科學的な認識論的方法によつて普遍的な立場に立ち、客觀性を把握しやうと試みるが、それは感覺論の主観的な方法論上の自己矛盾、自己肯定との間に矛盾を誘因するが故に不可避的に「虛構」「假設」を餘儀なくされるのデレンマに陥る。唯物史觀克服に向つて企てられたる河上博士、高田博士等の「虚構論」の「假設」は、かかる感覺論の當然のべきに元論的分裂を遂げる「自己矛盾」「自己肯定」を避けるための、形而上學的氣休め、他愛もない安全装置にほかならぬ、このみには限らない、あらゆる「反」或は「非」辯證法的唯物史觀を説明し得られれば、われわれの注目をすべき。

卒業の歌

古市 登
〇ぐつと飲んでほろろと泣きながら、
〇その季節、季節に咲いて来た温室の花らたつた、
〇みなんなんな、花をつけようとする植物の意欲に、
〇淡く私に銷した長崎のつもりの記憶を唱へて、
〇加藤欽也氏、長兄元立正
〇加藤欽也氏、長兄元立正
〇加藤欽也氏、長兄元立正

月夜の村

島田 忠夫
田植がすんだ
背戸の田に
もう集つて
鳴く蛙
月のぼれば
映の村
暁のやうに
夜間飛行機
タンタンと
ひいて村を
いま通る

浪人長屋

木下 利玄
浪人長屋
日岐武志作
月草道子書
太七の涙
太七は、自分の聲に、
太七は、自分の聲に、
太七は、自分の聲に、

潮聲

第六十五集
春の美 金子石城選出(四卅三章)
芝生に春の美のきゆるさま
春の美とともならず
春の美とともならず
春の美とともならず

嚴愛の子女教育

古河 炭礦 前松 佐嘉
見渡す所本日本お集りの方
は既にお子さんを持つて居る
方、現在はお子さん
を持つて居る方、
を持つて居る方、



「ね、旦那、人の壽命な、
源三郎殿の最後を衷心か
てもは分らんもんでやす
な大旦那のやうな器量のす
くれた方がこんど度やうな
災難にたひひなるなんて
まつたくわしは夢のやうな
な模様はわからぬが、と
気がしてならないです、
か、先づ先をくらました
之、之、まだに父の死を知
らすにあらぬのだ
「あ、ほんにお名残惜しく
なりませぬや、各、各に唄
はせてもらひやす
「うむ拙者も夢の様に住す
る」
太七は、手綱を打ち振り
ながら唄ひだした
西は追分東は關所
峠越ゆれば旅の空
あ、ほんたうに、これか
旅の空だと鐵頭はおもつ
た。ふつと先刻わかれた
鐵頭は馬の背にゆられな
がら、非情の念に胸が一杯
なつた。どうでも、父上
の追分形の茶屋で
ほろりと泣いたが忘ら
れよか

「嚴愛の子女教育」
見渡す所本日本お集りの方
は既にお子さんを持つて居る
方、現在はお子さん
を持つて居る方、
を持つて居る方、

生徒募集

女性のカミシヨ、裁縫、裁断、教授
女子洋裁専門學校
本報の特集に役立つ新裁断法
●實力主義で無料・習得個人の教授
●ミシン使用無料・材料貸与
●詳細學則郵券二銭
平町白銀町廿五番地

花の種子

西村屋藥局種子部
平2・電3

雛人形の大半

金太郎玩具店

高久病院

内科、外科、小児科、産科、婦科、皮膚科、泌尿科、眼科、耳鼻科、歯科、物理療法科

吸入用酸素

純度99%

お醤油

山崎合名會社

安齊外科醫院

平町町赤心堂病院(電話四七五番)

阿部材木店

建築材、内装材、外装材

通學服と防水マント賣出

東かや洋服店

